

## 医療機関の負担軽減のための受診協力等（平日、日中受診）に関する情報発信

## 1 趣 旨

本県の医療体制は、医療従事者の感染や濃厚接触による人員体制の不足や、軽度の発熱や倦怠感などの症状での夜間・休日の受診が増加している中においても、医療関係者の多大な尽力により、県民の命と健康を守るため、一部の医療機関では緊急性が低い検査や手術の延期などを行いながら医療提供を継続している状況であり、医療機関への負担軽減を図るため、岩手県と岩手県医師会が引き続き共同による情報発信を行っていくもの。

## 2 情報発信の主な内容等（県内の感染状況等を踏まえ、随時更新を予定）

別添チラシを活用し、ホームページやSNS、テレビや新聞広告などによる情報発信を随時実施。

## &lt;参考&gt; 岩手県医師会による緊急会見の概要（8/29 発表）

県民に対し、現在の本県の医療体制等の現状をお知らせし、改めて基本的な感染対策実施の確認・徹底への協力の呼びかけを実施。

## 医療体制等の現状

- 医療従事者の感染・自宅待機が、特に病院勤務の方々において増加傾向となっており、本来の通院患者への治療や入院患者への対応が出来なくなってきていること。
- 手術後の患者の治療や高齢な患者を、施設等で容体回復まで見守るなどの連携体制が取れなくなってきていること。
- がん、心血管疾患、脳疾患等で手術が必要な方への対応が出来ない状況になりつつあること。また、救急搬送が必要な救急患者への対応にも影響が出かねない状況であること。
- 新型コロナウイルス感染症自体は、本来、死亡率はそれ程高くないが、持病をお持ちの方や高齢の方が感染することにより、生命の危険があること。

## 県民への呼びかけ

- イベント等において、複数の人数でマスクを外し、長時間同じ空間にいることは控えていただきたいこと。
- コロナ慣れしている今、マスクを外した会話など、今一度一人一人に注意いただきたいこと。
- 感染した場合や濃厚接触による自宅待機になった場合に備え、1週間程度の生活必需品の準備や、発症時にすぐに医療機関での診察が難しくなることも想定し、市販の解熱剤や痛み止めの準備をお願いしたいこと。
- 重症化や後遺症に備えるため、若い方々もワクチンの接種を受けることを真剣に考えて欲しいこと。



夜間の受診等により医療機関への負荷が増えています

# 平日・日中の医療機関等

## への相談・受診

に可能な限りご協力をお願いします

- 軽度の発熱や倦怠感などの場合には、まず、**市販薬等を服用し、様子を見る**ようお願いします。
- **高熱が続く場合や周囲に陽性者がいる場合**などには、「**診療・検査医療機関**」への相談・受診をお願いします。

### 診療・検査医療機関

岩手県 診療・検査医療機関



※ 右記QRコードでも確認可能です

- かかりつけ医がいない、医療機関の診療時間外(夜間・休日)、子どもの急な発熱などの際は、「**受診・相談センター**」に相談をお願いします。

### 受診・相談センター

電話 : 0 1 9 - 6 5 1 - 3 1 7 5

F A X : 0 1 9 - 6 2 6 - 0 8 3 7

( 2 4 時 間 / 土 日 ・ 祝 日 を 含 む )



## 新型コロナに係る

# お知らせと感染対策徹底等のお願い

### お知らせ

○ 仕事・学校等に復帰する場合、職場等に対し、療養証明書や陰性証明書の提出は必要ありません。

○ 濃厚接触者の待機期間は、現在、原則5日間(6日目解除)となっています。

※ 抗原定性検査キット(自費検査)で2日目及び3日目に陰性となった場合は、3日目から解除となります。

なお、7日間は発症リスクや人に感染させるリスクがありますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

新型コロナに関する一般相談窓口

電話:019-629-6085 FAX:019-626-0837

(受付時間:9時~21時/土日・祝日を含む)

### お願い

#### <感染対策の徹底・事前の備え>

○ 換気、場面に応じたマスクの着用等をお願いします。

○ 1週間程度自宅で生活できるよう、食料品などの準備をお願いします。

#### <自宅療養時の注意点>

○ 軽症で自宅療養となった場合には、家族の方も含め、保健所への連絡が必要なサインに注意願います。

※連絡が必要なサイン:酸素飽和度(SpO2値が95%以下)



2m(目安)



令和4年8月9日



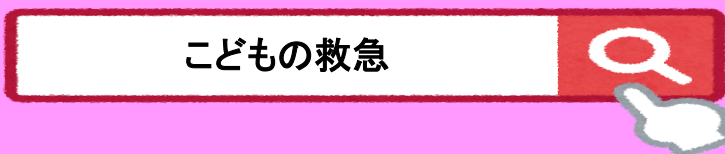
# 上手な医療のかかり方

～一般的な症状など(コロナ除く)での相談等にご活用ください～

## ＜上手な医療のかかり方～子ども編～＞

- すぐに受診させた方が良いのか、様子を見ても大丈夫なのか、子どもの突然の発熱などで迷った時には、「**こどもの救急(日本小児科学会監修)**」をぜひご活用ください。

### こどもの救急



- ※1 「こどもの救急」は右記QRコードでも確認できます。
- ※2 岩手県でも「こども救急ガイドブック」を作成しています。右記QRコードで確認・活用ください。



＜こどもの救急＞

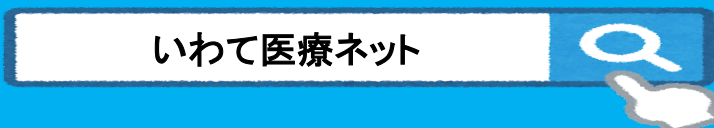


＜救急ガイドブック＞

## ＜上手な医療のかかり方～その他～＞

- 発熱や咳などの症状以外で、休日当番医などの受診を希望する際には、「**いわて医療ネット**」をご活用ください。

### いわて医療ネット



- ※ 右記QRコードでも確認できます。

